

中田

中田町建設業協会が奉仕作業



▲路肩の草を刈り取っていく会員

地域への感謝込め草刈り

中田町建設業協会(猪又昇会長)では9月2日、中田町上沼地域の道路沿いの草刈りを奉仕作業で実施しました。奉仕作業は合併前から行っているもので、現在は合併後に新たに発足した同協会が引き継ぎ、毎年実施しています。作業の現場は市道石森釜合線の全長約3キロ。当日は前日の雨で足元が滑る悪条件でしたが、参加した会員は熟練の技で路肩の草を刈り取りました。協会の猪又会長は「私たちが工事をすすめる際には、地域の皆さんから協力をいただいている。奉仕作業はその恩返しです」と話していました。

迫

母の会が安全運転を呼び掛け



▲安全運転を呼び掛けながら、冷たいおしほりを手渡しました

交通事故をクールダウン

佐沼交通安全母の会(鈴木信子会長)では8月29日、夏の交通事故防止運動「交通事故クールダウン作戦」を迫町中江の交差点で実施しました。夏は、暑さでドライバーの集中力が欠け、居眠り運転などによる事故が増加する季節。クールダウン作戦は、冷たいおしほりを配りながら、交通安全を呼び掛けることで気を引き締めてもらい、事故を防止するのが狙いです。当日は、母の会会員や佐沼警察署員ら17人が参加。赤信号で止まったドライバーへ「安全運転お願いします」と声を掛け、冷たいおしほりを手渡しました。

地域の絆、一層強まった

秋晴れの9月1日、豊里地区の市民大運動会が豊里運動公園を会場に開かれました。当日は、朝方に降った雨の影響で中止も心配されましたが、天候は回復し無事に開催。約1300人の地区住民が参加し、二人三脚や綱引き、風船割りリレーなどで心地良い汗をかきました。各地区のテントからは競技者へ大きな声援と拍手が送られ、地域の絆が一層強くなった運動会。白熱した競技の結果、下町町内会が総合優勝の栄冠に輝きました。準優勝は竹花町内会、第3位は加々巻町内会でした。

地区の市民大運動会熱く開催

豊里



▲綱引きではチーム一丸となり呼吸を合わせて綱を引っ張りました

働く喜び、大変さを学ぶ

8月19日から3日間、登米中学校(小野寺泰子校長)の2年生が市内の事業所で職場体験をしました。今回の職場体験は、市内13事業所の協力のもと実施。実際に働くことで、仕事の大変さや喜びを体感してもらうことが目的です。登米保育所では3人の生徒が職場体験。歌や踊り、学生自らが考えた「やまびこゲーム」を園児と一緒にやるなど、保育の仕事学びました。参加した生徒たちは「子どもたちがとてもかわいらしくて、楽しかったです」と笑顔で話していました。

登米中の2年生が職場体験

登米



▲登米保育所での保育体験。園児たちを喜ばそうと頑張りました

米山

夏休み、米岡小で初の取り組み



▲スイカ割りでは、目隠した児童に周りから大きな声援が送られました

学校に泊まり交流深める

米岡小学校(菅原純一校長)では8月20日、「学校に泊まる」2014 in 米岡小」を初めて開催。当日は児童91人が参加しました。まずはみんなで夕食作り。出来たてのカレーライスはとてもおいしく、お代わりの行例ができるほど。スイカ割りでは、目隠した児童が周囲から大きな声援を受け見事に命中させました。キャンプファイヤーでは、高く積み重ねられた薪が勢い良く燃え上がる様子に児童たちは圧倒されているようでした。日頃接する機会が少ない別学年の児童とも交流を深め、思い出に残る夏休みとなりました。

東和

米川地区でソフトボール大会



▲7チームが参加し熱戦が繰り広げられました

帰省客も参加し熱い戦い

米川地区の「ふるさとソフトボール大会」が盆の8月14日、東和中学校を会場に開催されました。大会には7チーム115人が参加しました。参加者の中には、地元の人たちと一緒にプレーすることを楽しみに、東京や茨城などから帰省した人も。1年ぶりの再会を喜び合い、和気あいあいプレーしていました。熱戦の結果、おそろいのユニフォームで参加した米川10区が優勝。東京都在住の八城衛さん(米川10区)に最優秀選手賞、柴田町在住の佐藤湧太さん(米川8区)に優秀選手賞が贈られました。